

2022 年度 J F グループ 役職員 研修 (第 16 回)

販売事業コース募集要項

《 テーマ 》

ポストコロナ時代における水産物
販路拡大戦略を考える

～水産物電子商取引に着目して～

日 程 2022 年 8 月 3 0 日 (火) 9:30～17:00

場 所 エッサム神田ホール 1 号館 6 階 601 中会議室
東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2

申込締切 2022 年 8 月 1 0 日 (水)

定 員 ハイブリッド方式
(会 場 参 加) : 2 0 名
(インターネット Zoom 参加) : 4 0 名

問 合 先 : 全国漁業協同組合学校
〒277-0854 千葉県柏市豊町1-4-5
TEL.04-7144-8125、FAX.04-7145-5003
E-mail : info@kumiai-gakkou.jp

テーマ	<p style="text-align: center;">ポストコロナ時代における水産物販路拡大戦略を考える ～水産物電子商取引に着目して～</p>												
ねらい	<p>コロナ禍が一向に終息せず、ロシアのウクライナ侵攻の影響などによる燃油高騰、円安、物価上昇等、消費全体の低迷が続いています。水産物市場も混迷をきわめ、販路を如何に拡大するかが、これまでも増して喫緊の課題となっています。他方、コロナ禍の下で勤務スタイルが変わり、WEB会議やオンライン授業などが新たな日常となり、インターネットを用いたeコマース（電子商取引）はさまざまな商品分野において浸透するようになりました。そうした中で、水産物を対象とした電子商取引がどのような可能性を秘めているのか、その綿密な検討が求められるようになりました。果たして、電子商取引が水産物の新たな販売経路として、さらには未来の一小売形態として定着しうるのか、その仕組みや動向、あるいはその特徴や成立条件や課題などに関する分析が必要不可欠となります。そこで、今年度の販売事業研修コースでは、そうした問いに答えるべく、「ポストコロナ」・「ウイズコロナ」の時代を生き抜くための、これまでも幾度となくチャレンジしては失敗を重ねてきた、水産物をめぐる電子商取引に焦点を当て、その仕組みの特徴と課題について、水産物流通の最前線でご活躍される方々をお招きし、それぞれの立場からご経験を開陳していただきまして、その経験を皆様とともに探ってみたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。</p>												
日時	2022年8月30日（火） 9：30～17：00												
場所	エッサム神田ホール1号館 601中会議室（6階）東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2												
研修費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">① J F 会員</td> <td style="width: 60%;">会場参加</td> <td style="width: 30%;">：32,000円（昼食・お茶代含む）</td> </tr> <tr> <td>② J F 会員</td> <td>インターネットZoom参加</td> <td>：30,000円</td> </tr> <tr> <td>③ J F 会員外</td> <td>会場参加</td> <td>：37,000円（昼食・お茶代含む）</td> </tr> <tr> <td>④ J F 会員外</td> <td>インターネットZoom参加</td> <td>：35,000円</td> </tr> </table>	① J F 会員	会場参加	：32,000円（昼食・お茶代含む）	② J F 会員	インターネットZoom参加	：30,000円	③ J F 会員外	会場参加	：37,000円（昼食・お茶代含む）	④ J F 会員外	インターネットZoom参加	：35,000円
① J F 会員	会場参加	：32,000円（昼食・お茶代含む）											
② J F 会員	インターネットZoom参加	：30,000円											
③ J F 会員外	会場参加	：37,000円（昼食・お茶代含む）											
④ J F 会員外	インターネットZoom参加	：35,000円											
締切日	2022年8月10日（水）（先着順、J F 会員優先） 定員 会場参加：20名 インターネット参加：40名												
対象者	漁協、漁連、信漁連等の役職員・販売実務者・流通企業他												
* 解題 * 講演 研修の流れ	<p>東京海洋大学 副学長 婁小波教授による解題 「ポストコロナ時代における水産物販路拡大戦略を考える～水産物電子商取引に着目して～」</p> <p>コロナ禍の中、不要不急の外出自粛、居酒屋等酒類を提供する飲食店への休業要請等により水産物市場は混迷をきわめ、コロナ禍の収束の目途は見通せず消費者の巣籠り状況はまだまだ続くと思われる。このような状況の中、インターネットを用いた電子商取引が見直され、様々な商品分野において浸透してきました。本研修会においても過去に「電子商取引」を取り上げたことがあります。再度「電子商取引」を取り上げその仕組みや動向を検証し、今後の販路拡大のヒントになればと思料します。第1講はJ F 全漁連による「ギョギョいちの仕組みと動向」、第2講はJ F 長崎漁連による「漁連による電子商取引の仕組みと動向」、第3講はパルスシステム生活協同組合連合会による「生協のインターネット注文の仕組みと動向」、第4講は羽田市場(株)の「末端需要家を対象としたBtoB電子商取引の仕組みと動向」、第5講は(株)フーディソンによる「プラットフォーム主導電子商取引の仕組みと動向」、第6講は(株)とくし丸による「スーパーと提携した移動販売の仕組みと動向」について講演頂き、最後に婁小波教授による総括と講師によるディスカッションで意見交換を行います。</p>												

演題、講師プロフィール等

講師等	内 容
<p>妻 小波 氏 (コーディネーター) 解題・総括</p>	<p>(テーマ) ポストコロナ時代における水産物販路拡大戦略を考える ～水産物電子商取引に着目して～</p> <p>東京海洋大学 副学長 学術研究院海洋政策文化学部門教授 農学博士</p> <p>東京海洋大学、学術研究院海洋文化政策学部門教授。1962年中国生まれ。1992年京都大学農学研究科農林経済学専攻修了。農学博士。専門は水産経済学、近年ではとくに水産物ブランド化や漁村地域経済活性化について研究。著書「水産物産地流通の経済学」「水産物ブランド化戦略の理論と実践」「海業の時代—漁村活性化に向けた地域の挑戦—」など多数。</p>
<p>濱田 浩 氏 第1講</p>	<p>(テーマ) 生産者主導電子商取引の仕組みと動向 —ギョギョいちの取組み—</p> <p>JF全漁連 経営統括部 新規事業戦略室室長、輸出・直販事業部 次長役兼務</p> <p>略歴：平成3年4月入会 購買事業部海外事業課（旧課名 外地課）に配属、平成21年4月 信用・組織事業部 部長代理、平成23年7月 購買事業部 海外事業課 課長、平成28年4月 日本貿易振興機構（JETRO）へ出向、令和元年4月より経営統括部 新規事業戦略室 室長に就任、現在に至る。</p>
<p>渡辺 聡 氏 第1講</p>	<p>(テーマ) 生産者主導電子商取引の仕組みと動向 —ギョギョいちの動向—</p> <p>JF全漁連 輸出・直販事業部 次長、船橋事業所 所長事務取扱</p> <p>出身地：千葉県いすみ市（現在は、千葉県在住）平成8年8月 株式会社 全漁連フーズ 入社、平成17年4月 同社 営業部営業二課長、平成20年4月 同社 営業部部長代理、平成21年4月 販売事業部 直販事業グループ 直販第二課長、平成24年4月 販売事業部 直販事業 グループマネージャー、平成30年4月 輸出・直販事業部 次長、令和3年4月より 輸出直販事業部次長 兼 船橋事業所長事務取扱、現在に至る</p>
<p>松浦 洋一郎 氏 第2講</p>	<p>(テーマ) 漁連における電子商取引の仕組みと動向 —JF長崎漁連の取組み—</p> <p>JF長崎漁連 事業推進部次長（兼）企画事業推進課長</p> <p>大学卒業後、長崎県漁連入会 購買課勤務、平成4年 杵崎出張所勤務、H8年 長崎漁港加工センター（以下加工センターという）勤務、H11年 福岡県営業開発課 福岡生協との加工品の取組みや、量販店との産直鮮魚取り扱いに従事、H14年 東京営業所所長、H16年 県南事業所 長崎魚市で、量販店や市場向けの鮮魚、加工原料の買付に従事、H21年 東京事業所所長、H23年 総務指導部指導課長（漁政担当）兼 長崎県いか釣り漁業協議会事務局長、H24年 加工センター、H27年 ネット販売統括課長（兼）製品販売課・加工センター営業統括として、長崎漁連ウェブショッピングを担当、令和2年福岡事業部次長、R4年事業推進部次長となり現在に至る。</p>
<p>加藤 かおり 氏 第3講</p>	<p>(テーマ) 生協のインターネット注文の仕組みと動向 —パルシステムの取組み—</p> <p>パルシステム生活協同組合連合会 執行役員 広報本部長</p> <p>パルシステムが全国で初めてライフステージ別カタログを導入。導入時担当として赤ちゃんを持つ家庭向けカタログ『yummy m』を創刊、インターネット事業本部にて各種アプリの開発及びインターネット向け商品企画に携わる。インターネット事業室長を経て現在に至る。</p>
<p>野本 良平 氏 第4講</p>	<p>(テーマ) 末端需要家を対象としたBtoB電子商取引の仕組みと動向 —羽田市場(株)の取組み—</p> <p>羽田市場(株) 代表取締役社長 CEO</p> <p>実家の業務用食材卸会社に入社。原料産地開拓～卸売～物流～食品工場の設立&立上げ～製造～商品開発～品質管理～営業～海外合併企業の設立（現地法人代表）～輸出入業務等を経て、製造・流通業界（川上・川中）から外食・小売業界（川下）へ。グルメリターンずしチェーン、居酒屋チェーン、飲食小売企業にて役員を歴任。食品業界一筋30年のキャリア。市場を介さない漁師との直接取引で「究極の朝どれ」を実現したことが多数の全国メディアに取り上げられ、全国の飲食店・スーパー・量販店等に「朝どれブーム」のきっかけを作った。テレビ東京「カンパリア宮殿」「ガイアの夜明け」「ワールドビジネスサテライト」等、「流通の革命児」としてテレビ・雑誌・新聞等多数のメディアに取り上げられる。農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）6次産業化プランナー、静岡県6次産業化専門家、おさかなマイスター、日本さかな検定1級、魚食スペシャリスト、他。</p>
<p>山本 英満 氏 第5講</p>	<p>(テーマ) プラットフォーマー主導電子商取引の仕組みと動向 —UOPOCHIの取組み—</p> <p>(株)フーディソン 魚ポチグループ 仕入れチーム</p> <p>全国漁業協同組合学校(第47期)卒業後、田老町漁業協同組合(岩手)に入職、15年勤務後退職。ニュージーランドへ留学、帰国後、IT会社へ入社（総務経理課長・部長を経て役員就任）。中国系水産物輸出入会社（インポーター）へ入社、対中国間の水産物輸出入業務に従事。一部上場網メーカーへ入社、鮮魚チームへ配属、全国各地取引先の漁労へ乗船同行し生産者へ鮮度保持方法（氷の使い方、魚の扱い方等々、付加価値の付け方など）を指導および漁獲物販売の協力、凍魚輸出、対ロシアからのボタンエビの輸入、取引先不採算漁場の再生PJへの協力などに従事、震災により退職し帰郷。その後関東に戻り築地場外市場飲食店の仕入業務の協力。（アルバイト、フーディソンへ入社、現在に至る。主な業務は産地開拓、産地からの仕入れ、豊洲市場内仕入れ、産地生産者への各種指導、物流の調整、地方創生案件の協力等々。公益財団法人）海外漁業協力財団の海外派遣水産専門家登録をされています。</p>
<p>荒川 伸太郎 氏 第6講</p>	<p>(テーマ) スーパーと提携した移動販売の仕組みと動向 —(株)とくし丸の取組み—</p> <p>(株)とくし丸 執行役員 業務構築部 部長</p> <p>株式会社とくし丸 執行役員 業務構築部 部長。1983年、埼玉県生まれ。2010年オイシックス・ラ・大地株式会社入社。新規事業である店舗運営管理、業態開発業務に従事。2016年、同社と株式会社とくし丸の経営統合に際し、第一号社員として出向。全国の契約スーパーマーケットに対するスーパーバイザーとして従事し、2021年には業務構築部を立ち上げ、現在は仕組や制度作りに関与。</p>

(注)講師及び講演順序が変更される場合があります

2022年度販売事業コース 講演内容

日 程：8月30日（火）エッサム神田ホール1号館 6階 601中会議室

	時 間	内 容
開 場	9：10	（会場参加者）受付開始、インターネット接続開始、
開 講	9：30	（開講挨拶）吉田博身校長
解 題 （20分）	9：35 ～ 9：55	（テーマ）ポストコロナ時代における水産物販路拡大戦略を考える ～水産物電子商取引に着目して～ 妻 小波氏（東京海洋大学 副学長 教授）
第1講 （30分）	10：00 ～	（テーマ）生産者主導電子商取引の仕組みと動向 －ギョギョいちの仕組み－ 濱田 浩氏（JF全漁連 経営統括部 新規事業戦略室室長、輸出・直販事業部 次長役）
（30分）	11：00	－ギョギョいちの動向－ 渡辺 聡氏（JF全漁連 輸出・直販事業部次長 船橋事業所 所長 事務取扱）
第2講 （50分）	11：10 ～ 12：00	（テーマ）漁連における電子商取引の仕組みと動向 －JF長崎漁連の取組み－ 松浦 洋一郎氏（JF長崎漁連 事業推進部次長（兼）企画事業推進課長）
昼 食	12：00	休 憩
第3講 （40分）	13：00 ～ 13：40	（テーマ）生協のインターネット注文の仕組みと動向 －パルシステム生活協同組合連合会の取組み－ 加藤かおり氏（パルシステム生活協同組合連合会 執行役員 広報本部長）
第4講 （40分）	13：50 ～ 14：30	（テーマ）末端需要家を対象とした BtoB 電子商取引の仕組みと動向 －羽田市場㈱の取組み－ 野本 良平氏（羽田市場㈱ 代表取締役社長 CEO）
第5講 （40分）	14：40 ～ 15：20	（テーマ）プラットフォーム主導電子商取引の仕組みと動向 －UOPOCHIの取組み－ 山本 英満 氏（(株)フーディソン 魚ポチグループ 仕入れチーム）
第6講 （40分）	15：30 ～ 16：10	（テーマ）スーパーと提携した移動販売の仕組みと動向 －㈱とくし丸の取組み－ 荒川 伸太郎氏（㈱とくし丸 執行役員 業務構築部部長）
総 括 （40分）	16：20 ～ 17：00	総括・ディスカッション

《連絡事項》

①会場参加される皆様へ

会 場	<p>1. エッサム神田ホール 1号館 6階 601中会議室 東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2 電話 03-3254-8787</p> <p>2. 交 通 1)JR「神田駅」東口 徒歩3分 2)東京メトロ銀座線「神田駅」3番出口 徒歩1分</p>
宿 泊	<p>宿泊については各自で手配して下さい。</p>
研修費 内訳	<p>1. 講義 日時 8月30日(火) 9:30 ~ 17:00 講義料等 会場参加者(弁当・お茶代含む) 会員32,000円 (JF会員外 37,000円) 講義料等 インターネットZoom参加者 会員30,000円 (JF会員外 35,000円)</p> <p>2. 研修費に含まれないもの 宿泊費等</p>
その他	<p>1. 受付開始は 9:10~ 開講は 9:30~ です。</p> <p>2. <集合時間> ・8月30日(火)は、9:10 まで にエッサム神田ホール1号館 6階、601中会議室にお集まり下さい。</p> <p>3. 受付の際に名刺のご提出をお願いいたします。</p> <p>4. 講義中は、楽な服装で結構です。</p> <p>5. 講師の事情等により、内容が変更になる場合があります。</p> <p>6. 当日の緊急連絡先 担当:森本(090-4076-4752)、石山(070-5023-4347)</p> <p>7. 原則、請求書は送付いたしません。</p> <p>8. 研修費は原則として払い戻しいたしませんので、予めご了承願います。</p>

《 連絡事項 》

②オンラインにより参加される皆様へ

全国漁業協同組合学校

オンライン研修（Zoom）にお申込みされるにあたって

■受講環境

オンライン研修への参加には、下記の環境が必要です。

- ・カメラ・マイク機能付きパソコン（1人1台）

※タブレット端末からもご受講いただけますが、閲覧性や操作性の面から、パソコンでの受講を強く推奨いたします。

- ・インターネットへの有線接続または Wi-Fi 環境（1日あたり 5GB を使用できる環境）
有線 LAN でインターネット接続されたパソコンでのご参加を強く推奨します。
- ・周りの音が入らない個室
- ・事前に必ず Zoom ミーティングシステムの継続テストを実施してからお申込みください。

■研修当日までの流れ

- ①【お申込み】募集要項の参加申込書をご記入のうえ、FAX または E-mail に申込みください。
FAX：04-7145-5003 E-mail：info@kumiai-gakkou.jp
- ②【受付メール】申込み受領後ご返信いたします。申込みから1～2日経過しても返信がない場合は、お電話でのご確認をお願い致します。
- ③【振込】参加費は期日までにお振込みください。（募集要項の参加申込書に記載）
- ④【Zoom ミーティング情報等送付】研修の5日前を目途に Zoom ミーティング情報等をメールにて送付します。
- ⑤【資料は送付】8月24（水）日を目途に郵送いたします。
- ⑥【Zoom テスト】8月25日（木）1回目 10:30～、2回目 13:30～ の2回実施いたします。
Zoom によるオンライン研修の受講が初めての方、Zoom の操作に不安のある方はできる限りご参加ください。研修当日に必要な操作の確認を行います。
- ⑦【研修当日】Zoom の招待用 URL もしくはミーティング ID・パスコードにて入室ください。

■注意事項

- ・ミーティング情報、研修資料の複製や拡散等の二次使用、研修内容の録画・撮影は禁止しております。
- ・インターネット等の通信料、本研修で使用する資料等、受講にかかる費用は受講者の負担となります。
- ・当日の受講者側による通信環境のトラブルがあった場合、参加費は返金致しかねます。
- ・記録のため、研修内容を事務局でレコーディングさせていただきます。
- ・受講者名簿と当日の受講者氏名を照合し、受講状況を確認していますので、原則として一人1台のパソコンをお願いします。
- ・講演中は参加者のマイクはミュートとしてください。

なお、質疑応答等の時は事務局よりマイクのミュート解除をお願いすることがあります。

- ・会議参加時には Zoom の表示名を以下の形式に変更してください。

お名前 所属 → 例) 石山 組合学校

- ・接続不良等について個別の対応は致しかねます。
- ・講師のPCや配信側のインターネット接続の障害等に起因する中断が30分以上あった場合や研修を遂行できない場合は、何らかの措置を致します。
- ・プロバイダー等インターネット接続状況がそれぞれ異なるため、受講者側の通信環境による接続不良については事務局ではお応えできかねますので、ご理解のうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先

E:mail : info@kumiai-gakkou.jp

電話 04-7144-8125

担当：全国漁業協同組合学校 石山・森本

販売事業コース参加申込書

全国漁業協同組合学校 行 (FAX: 04-7145-5003)
(E-mail: info@kumiai-gakkou.jp)

所属団体名

代表者名

所在地 〒

電話番号

FAX番号

E-mail

1. 参加者氏名	フリガナ			
2. 年齢	歳			
3. 所属部署名・役職名				
4. 携帯電話番号				
5. 研修コース (ご希望する欄に○を記入してください)				
コース	JF会員 (漁協・漁連・信漁連・役所関係等)		JF会員外 (流通企業等)	
	金額	希望のところに○印	金額	希望のところに○印
講義(会場参加) 昼食・お茶含む	32,000円		37,000円	
講義 (インターネットZoom参加)	30,000円		35,000円	

※申込受付は先着順になりますので、予めご了承ください。(JF会員優先)

合計金額	円
振込先	農林中央金庫 本店 普通預金 4010030 一般財団法人漁村教育会

※申込締め切り日は8月10日(水)、振込期日は8月26日(金)です。

※研修費は原則として払い戻しいたしませんので、予めご了承ください。

※本申込書をもって請求書とかえさせていただきます。

※申込者と連絡先が異なる場合のみ、担当者のお名前等を下記にご記入ください。

所属

担当者名

連絡先

受領確認欄

*お申込みの方には、組合学校から受領印を押してFAXまたはE-mailにて、ご返信致します。もし1~2日中に返信がない場合には、恐れ入りますがご連絡いただきますようお願い申し上げます。

